

希望の鐘

第221号

ひとつのつぼみはいちどしかひらかない

文責：校長 佐々木

校歌のこと～学校創立にかけた想い～

四、	三、	二、	一、	八
すあ再と今雪	きあ伸国つひ	ふあ豊花今踏	こあ青なみ美	小
すあ建つ日の	おあびおたん	るあか句かみ	ぞあきりちし	市
み のく綴ご	い ゆこえが	い なうおく	り 森わのき	立
ゆ今足にると	立今くすかし	立今る白るだ	立今希たくよ	野
くぞ音の歴真	つぞよ教しに	つぞふき民く	つぞ望るのも	中
小み高ひ史白	小強力の世ひ	小自るり主封	小大輝平朝の	学
中くくびあく	中くの庭界ら	中由さんの建	中地く和は波	校
野に きかき	野雄わにのけ	野たとご風の	野を のあ風	校
中の にるよ	中々か 新る	中たののに制	中け 鐘け	実勉
学た こしく	学しき 潮海	学え土	学っ なた	校
校め た	校く 路	校て	校て り	歌
に え				曲

本校の校歌を作詞された小沼勉先生は、小中野中学校の初代校長先生です。

昭和22年4月から昭和34年3月まで、なんと12年間という長きにわたり務められました。現在、青森県の公立小・中学校の教員の勤務年数は最長でも10年、平均3～5年、校長や教頭(管理職)は2～4年ぐらいですから、非常に長い期間だったことがわかります。

戦後まもなく、現在の学校制度(小学校6年間、中学校3年間の計9年間が義務教育であること、高等学校は3年間、大学は4年間とすること など)が決められた中で「小中野中学校初代校長として、学校の礎(基礎)を固めたい。」という、小沼校長先生の並々なぬ思いが伝わってきます。

校歌の歌詞は、小中野という地域や青森県の風土、戦後の復興に向けた想い(特に3番の「ひんがし(東)にひらける海路/伝えかし世界の新潮」)などが、威厳をもたせた言葉でつづられています。そして、風格のあるメロディーは校歌の威厳をさらに高めています。

八戸市の博物館の先駆けとなる「八戸郷土博物館」を校地内に開設したり、校訓「ひとつのつぼみはいちどしかひらかない」を掲げたりと、小中野中学校を「確かな学びの場」として根付かせようという、初代の小沼校長先生や、創立に関わった地域の先人たちの気概が、ひしひしと伝わってきます。

これまでは感染症の影響を考慮して1番と4番しか歌っていませんでしたが、今年度はできる限り2番～3番も加えた校歌全てを歌う機会を増やしていきたいと考えています。

6月は運動部はもちろん、全校生徒にとって「チーム小中野」として迎える市中体夏季大会がやってきます。

たとえ校歌は歌わなくても、これまでの先輩方が気付き上げてきた小中野中の誇りを胸に、全校一丸となって決戦の日に備えていきます。

小中野中学校区ジョイントスクール

5月29日(月)本校を会場に、小中野小・中学校の教員が小中連携の在り方を研修する、ジョイントスクールが行われました。



初めに5時間目の授業を参観いただいたのですが、小学校の先生方からは、「音楽の合唱では、ずいぶん声が出ていますね。」
「3年生はみんな背が伸びて、すぐには名前が出てきませんでした。」
などの感想をいただきました。

その後、体育館で全体会のほか、「学習部会」「生徒指導部会」「特別支援教育部会」の3分科会も行いました。



小学校と中学校は学校文化の違いはありますが、義務教育機関として果たす役割は同じです。

児童生徒の健やかな成長に向けて、連携を強化しながら、教育活動を展開して参ります。

小学校の先生方、お忙しいところ御来校くださり、また、様々な感想や御意見をお寄せくださり、ありがとうございました。

6月前半の行事予定

1日(木) 衣替え完全実施

2日(金) 英語検定

5日(月) 手作り弁当

6日(火) 全校朝会

9日(金) 応援団結成

13日(火) 耳鼻科検診
PTA環境委員会
花壇整備

14日(水) 眼科検診

15日(木) 市中体夏季大会
壮行会
※昨日案内配付

栄光の記録～春季大会の結果～

夏季大会も
頑張ります!

- ☆男子バレーボール 令和5年度八戸市中学校バレーボール春季大会第2位(県大会出場)
- ☆野球部 令和5年度八戸市中学校春季野球大会 第3位
- ☆ソフトテニス部 令和5年度八戸市中学校峯杯争奪ソフトテニス大会 女子団体第3位
- ☆剣道部(女子) 令和5年度第70回青森県中学校春季剣道選手権大会女子団体第3位

栄光の記録～PTA広報委員会～

本校PTA広報紙「ともしび」が、このたび八戸市連合PTA主催の広報紙コンクールにおいて「優秀賞」をいただきました。
広報作成に携わってくださった皆さま、おめでとうございます。



